

「東京の学童保育を充実させる連絡会」学習交流会のお知らせ

「子ども・子育て新システム」の動向を学ぶ

「東京の学童保育を充実させる連絡会」（以下「充実させる会」）は東京都学童保育連絡協議会と三多摩学童保育連絡協議会が呼びかけ団体となり発足し、東京都への働きかけや、学童保育をめぐる区市の交流、学習を中心に活動しています。

政府は、保育を成長の期待できる重要な産業に位置づけ、保育を福祉から切り離し、国や自治体の責任を後退させる「子ども・子育て新システム」の導入を急いでいます。

2012年1月20日、「子ども・子育て新システム検討会議」基本制度ワーキングチームが開かれ、「子ども・子育て新システムに関する基本制度とりまとめ案」が提案されました。学童保育に関しては、「4年生以上も対象とすること」「市町村が地域のニーズ調査等に基づき実施する旨を法定すること」「利用手続きは市町村が定めること」とあわせて、「質を確保する観点から、職員の資格、員数、施設、開所日数・時間などについて、国は法令上の基準を新たに児童福祉法体系に設定する」とされ、「中間取りまとめ」になかった基準が必要な事項に「職員の資格」が加わっています。このことは、これまでの様々な運動が反映された内容と言えます。

しかし、「子ども・子育て新システム」が企業の利益が優先される「保育の産業化」が目的であることには変わりはありません。

こうした中、充実させる会では、「子ども・子育て新システム」についての学習交流会を行うこととしました。お忙しいとは思いますが、ぜひご参加下さい。

【日時】2012年3月11日(日) 13:30~16:30(終了予定)

【場所】武蔵野プレイス 3F スペースC

(JR 武蔵境駅南口徒歩5分 武蔵野市境南町 2-3-18 tel 0422-30-1905)

【内容】講演「子ども・子育て新システム」の動向について

垣内 国光 先生(明星大学教授 子育て支援・福祉労働)

※ 講演後、質疑応答および交流

【参加費】無料

【主催】

東京の学童保育を充実
させる連絡会

【問い合わせ先】

東京都学童保育連絡
協議会

03-5907-6101

